

午後 I 試験

問 1

問 1 では、RPA システムを題材として、新技術を活用したシステムの開発と導入の監査について出題した。  
設問 1 は、類似作業を共通化する際に、差異分析や影響評価が必要となることを理解しているかを問うた。リスクとして解答する場合は、単に差異を考慮しないという原因だけでなく、業務に支障が生じるという結果も含めて記述するようにしてほしい。設問 2 も、設問 1 と同様にリスクを問う設問であり、原因だけでなく結果も明確に示すように留意してほしい。  
設問 3 は、ID とパスワードの管理方法を問うたが、一般的なセキュリティ管理の要件を示した解答が多かった。システムの特徴を理解して、管理すべき事項を特定して監査ができる能力を身につけてほしい。  
設問 4 は、変更管理プロセスの手順書について確認すべき内容を問う設問であったが、単に一般的な変更管理プロセスの整備を記述している解答が見られた。関連システムを操作するという RPA システムの特徴を理解して、必要な内容を解答できるようになってほしい。

問 2

問 2 では、情報システム部門の体制が十分でない企業を題材として、システム開発計画の監査について出題した。全体として正答率は高かった。  
設問 1 は、“優先順位が検討されているか”という監査要点に対応する監査手続の不足を理解して、その理由を解答してほしいだったが、要件定義の検討不足や要望の採否に係る不足事項に関する解答が多かった。  
設問 3 も設問 1 と同様に、監査要点から見た監査手続の不足の理由を問う設問であったが、要件に対する充足度又は品質の確保に関する解答が目立った。監査要件を満たすための監査手続を理解・把握する能力を身につけてほしい。  
設問 5 は、要件の追加・変更に関する“利用部門向け”の対策を問う設問であったが、委託先との契約や委託先での要員確保などに関する解答が多く見られた。また、設問は“対策の内容”を問うているにもかかわらず、要件の追加・変更時の監査ポイントや監査手続に関する解答も散見された。設問で問われていることをよく理解して解答するよう心掛けてほしい。

問 3

問 3 では、基幹システムのオープン化を題材として、システム再構築のプロジェクト計画段階における監査について出題した。  
設問 2 は、分析工程の計画及び実施内容について問う設問であったが、設計工程や製造工程の実施内容に関する解答や、分析工程が実施済みであることを前提とした解答が見られた。監査の対象や実施時点を正確に認識してほしい。  
設問 4 は、ユーザ受入テストの際に、システムの操作性で問題が表面化することに対するリスク軽減策を問う設問であった。問題が表面化した後の対応策に関する解答が見られたが、プロジェクト計画段階の監査としては、予防的なリスク軽減策を解答してほしい。  
設問 5 は、想定されるリスクとして、問題文中の現行システムの状況を踏まえた具体的な確認事項を問う設問であったが、“第 2 段階の再構築計画が経営の承認を得ていること”など、一般論的・抽象的な解答が散見された。問題文の内容をしっかりと把握して、具体的な解答を心掛けてほしい。